

Acronis Backup & Recovery[®] 11 ライセンスガイドブック（簡易版）



はじめに

本書は、Acronis Backup & Recovery 11の販売パートナー様の支援を目的として作成されております。

Acronis Backup & Recovery 11は、お客様の環境やニーズに合わせたエディションやライセンスをご用意しております。本書をご一読いただき、お客様に最適なエディション、ライセンス構成をお選びください。

なお、個々の環境に最適で期待するパフォーマンスを得るためには、お客様が使用されているコンピュータやネットワーク等の環境に基づいた構成を組む必要があります。本書に記載のある構成図は、ライセンスを説明するためのものであり、必ずしも最適な構成を示すものではありません。

本書に記載されているライセンスは、Acronis Backup & Recovery 11に適用されるものです。Acronis Backup & Recovery 11の製品仕様は、改良のため予告なく変更される場合があります。それに伴い、本書も事前の予告なく変更される場合があります。

* 本書の記載内容は2012年1月時点での情報です。

目次

Acronis Backup & Recovery 11 について	4
代表的な機能.....	5
サポート対象オペレーティングシステム.....	6
提供形態について.....	9
ライセンス版とパッケージ版の違いについて.....	10
エディションアップグレードについて.....	11
他社製品からの乗り換えについて.....	11
ガバメント/アカデミック ライセンスについて	12
新旧製品対応表.....	13
ライセンスの考え方について.....	14
保守契約（Acronis Advantage Standard）の考え方について	18
ライセンスポリシーについて.....	20
お問い合わせ先.....	21

Acronis Backup & Recovery 11 について

Acronis Backup & Recovery 11は、特許取得済みのディスクイメージング技術およびベアメタル復元技術に基づいたディザスタリカバリとデータプロテクションを実現する統合ソリューションです。バックアップと復元に関するすべての動作を集中管理できるように設計されており、企業が設定したRTO（目標復旧時間：Recovery Time Objective）を実現するために最適な機能を提供します。

近年コスト削減の観点からも導入が加速している仮想環境にも対応しており、物理や仮想の混在環境だけではなく、WindowsやLinuxのOS混在環境に対しても、同一のインターフェイスを通じて、包括的なバックアップと復元を行うことができます。

Acronis Backup & Recovery 11によって、企業は優れたコスト効率や容易な管理性、柔軟な拡張性を備えたバックアップおよび復元インフラを構築し、迅速なディザスタリカバリとデータプロテクションの実現により、ビジネスの継続性を確保できます。

Acronis Backup & Recovery 11は、お使いになる環境や用途に応じたラインナップをご用意しています。運用対象となるコンピュータでAcronis Backup & Recovery 11を起動し、直接操作してバックアップを行うスタンドアロン型は、シンプルで簡単な運用が可能です。複数台のコンピュータを管理できる集中管理型は、アクロニスのコンポーネント間で通信を行い、リモート操作で運用できます。

スタンドアロン型ソリューション	
Acronis Backup & Recovery 11 Workstation	ワークステーションのバックアップと高速な復元を簡単操作で実現
Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows	Windowsサーバにおけるバックアップの自動化と容易な復旧操作によりRTOを短縮
Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux	Linuxサーバにおけるバックアップの自動化と容易な復旧操作によりRTOを短縮
集中管理型ソリューション	
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Workstation	あらゆる規模の企業向けに、ワークステーションの集中管理を備えた高度なデータバックアップとシステムリカバリを提供
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server	WindowsとLinuxサーバの混在環境においても、高度なバックアップの統合管理とシステムの復元を実現
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server SBS Edition	Microsoft Windows Small Business Server(SBS)向けに最適化された、低価格でパフォーマンスの高いバックアップを提供
Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition	仮想環境に特化した高度なバックアップの統合管理とシステムの復元を実現
オプション	
Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restore	異なる機種への復元が可能
Acronis Backup & Recovery 11 Deduplication	重複するデータを除外

代表的な機能

Acronis Backup & Recovery 11の各エディションの代表的な機能は以下の表でご確認ください。

機能	集中管理型ソリューション				スタンドアロン型ソリューション		
	Advanced Workstation	Advanced Server	Advanced Server SBS Edition	Virtual Edition	Workstation	Server for Windows	Server for Linux
ブロックレベルのイメージバックアップ	○	○	○	○	○	○	○
ファイルバックアップ	○	○	○	○	○	○	○
ベアメタル復元	○	○	○	○	○	○	○
バックアップスケジュールの管理	○	○	○	○	○	○	○
災害復旧計画の自動生成	○	○	○	○	○	○	○
アラート通知（電子メール、SNMP）	○	○	○	○	○	○	○
テープへのバックアップ	○	○	○	○			
uEFIサポート	○	○	○	○	○	○	○
ステージング	○	○	○	○	○	○	○
集中管理	○	○	○	○			
カタログ作成と検索	○	○	○	○	○	○	○
ダイナミックディスクのサポート	○	○	○	○	○	○	
エージェントレスによるVMバックアップ				○			
1ライセンスで1ホスト上の仮想マシンに無制限に対応				○			
サーバOS対応		○	○	○		○	○
ワークステーションOS対応	○	○		○	○	○	○
異機種への復元(*)	オプション	オプション	○	○	オプション	オプション	オプション
重複除外(*)	オプション	オプション	オプション	オプション			

(*)異機種への復元（Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restore）と、重複除外（Acronis Backup & Recovery 11 Deduplication）は、オプションと記載されている場合には別途ライセンスが必要になります。

サポート対象オペレーティングシステム

Acronis Backup & Recovery 11の各エディションの対応オペレーティングシステムは以下でご確認ください。

集中管理型ソリューション

Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Workstation
エージェント for Windows - Windows 2000 Professional SP4 - Windows XP Professional SP2以降(x86、x64) - Windows Vista - Home Basic、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64)、(全てのSP) - Windows 7 - Starter、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64)
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server
エージェント for Windows - Windows 2000 SP4 - Datacenter を除く全てのエディション - Windows XP Professional SP2以降(x86、x64) - Windows Vista - Home Basic、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64)、(全てのSP) - Windows 7 - Starter、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64) - Windows Server 2003/2003 R2 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP) - Windows Small Business Server 2003/2003 R2 - (全てのSP) - Windows Server 2008 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP) - Windows Small Business Server 2008 - (全てのSP) - Windows Server 2008 R2 - Standard、Enterprise、Datacenter、Foundation - Windows MultiPoint Server 2010 - Windows Small Business Server 2011 エージェント for Linux Linux カーネル 2.4.20以降（カーネル2.6.x含む） および glibc 2.3.2以降 以下を含む、各種32 ビットおよび64 ビットLinux ディストリビューション - Red Hat Enterprise Linux 4.x、5.x、6.x - Ubuntu 9.10 (Karmic Koala)、10.04 (Lucid Lynx) 、10.10 - Fedora 11、12、13、14 - SUSE Linux Enterprise Server 10、11 - Debian 4 (Etch)、5 (Lenny) - CentOS 5.x
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server SBS Edition
エージェント for Windows - Windows Small Business Server 2003/2003 R2 - (全てのSP) - Windows Small Business Server 2008 - (全てのSP) - Windows Small Business Server 2011

Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition**エージェント for Windows**

- ・ Windows 2000 SP4 - Datacenter を除く全てのエディション
- ・ Windows XP Professional SP2以降(x86、x64)
- ・ Windows Vista - Home Basic、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows 7 - Starter、Home Premiumを除く全てのエディション(x86、x64)
- ・ Windows Server 2003/2003 R2 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows Small Business Server 2003/2003 R2 - (全てのSP)
- ・ Windows Server 2008 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows Small Business Server 2008 - (全てのSP)
- ・ Windows Server 2008 R2 - Standard、Enterprise、Datacenter、Foundation
- ・ Windows MultiPoint Server 2010
- ・ Windows Small Business Server 2011

エージェント for Linux

Linux カーネル 2.4.20以降（カーネル2.6.x含む） および glibc 2.3.2以降
以下を含む、各種32 ビットおよび64 ビットLinux ディストリビューション

- ・ Red Hat Enterprise Linux 4.x、5.x、6.x
- ・ Ubuntu 9.10 (Karmic Koala)、10.04 (Lucid Lynx) 、10.10
- ・ Fedora 11、12、13、14
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 10、11
- ・ Debian 4 (Etch)、5 (Lenny)
- ・ CentOS 5.x

エージェント for Hyper-V

- ・ Windows Server 2008/2008 R2 (x64) (Hyper-V 使用)
- ・ Microsoft Hyper-V Server 2008/2008 R2

エージェント for ESX(i) (Virtual Appliance)

エージェント for ESX(i) は仮想アプライアンスとして提供されます。

- ・ VMware ESX Infrastructure 3.5 Update 2 以降
- ・ VMware ESX/ESXi 4.0、4.1、5.0

エージェント for ESX(i) (Windows)

このエージェントはエージェント for Windows が動作するOS上で稼働するWindowsアプリケーションとして提供されます。

スタンドアロン型ソリューション

Acronis Backup & Recovery 11 Workstation

- ・ Windows 2000 Professional SP4
- ・ Windows XP Professional SP2以降(x86、x64)
- ・ Windows Vista - 全てのエディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows 7 - 全てのエディション(x86、x64)

※ エージェントへのリモート接続はできません

Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows

- ・ Windows 2000 SP4 - Datacenter を除く全てのエディション
- ・ Windows XP Professional SP2以降(x86、x64)
- ・ Windows Vista - 全てのエディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows 7 - 全てのエディション(x86、x64)
- ・ Windows Server 2003/2003 R2 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows Small Business Server 2003/2003 R2 - (全てのSP)
- ・ Windows Server 2008 - Standard、Enterprise エディション(x86、x64)、(全てのSP)
- ・ Windows Small Business Server 2008 - (全てのSP)
- ・ Windows Server 2008 R2 - Standard、Enterprise、Datacenter、Foundation
- ・ Windows MultiPoint Server 2010
- ・ Windows Small Business Server 2011

※ エージェントへのリモート接続はできません。

Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux

Linux カーネル 2.4.20以降（カーネル2.6.x含む） および glibc 2.3.2以降
以下を含む、各種32ビットおよび64ビットLinux ディストリビューション

- ・ Red Hat Enterprise Linux 4.x、5.x、6.x
- ・ Ubuntu 9.10 (Karmic Koala)、10.04 (Lucid Lynx) 、10.10
- ・ Fedora 11、12、13、14
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 10、11
- ・ Debian 4 (Etch)、5 (Lenny)
- ・ CentOS 5.x

※エージェントへのリモート接続はできません

*最新のオペレーティングシステムのサポート情報については、弊社Webページをご参照ください。

提供形態について

Acronis Backup & Recovery 11は、ライセンス版とパッケージ版の2種類をご用意しています。

● ライセンス版

価格/型番	ライセンス数ごとにレンジ（単価テーブル）が設定されており、購入する際のライセンス数で価格/型番が決まります。
種類	通常ライセンス（一般企業） ガバメント/アカデミック ライセンス（学校法人や官公庁などの公共団体）
対象エディション	全エディション

- 複数エディションを購入する場合、他のエディションとの合算はできません。
- 追加でライセンスを購入する場合、過去に購入されたライセンスの累計ではなく、購入時点でのレンジが適用されます。
- すべての製品には初年度の保守料金が含まれています。
- オプション製品のAcronis Backup & Recovery Universal Restore、Acronis Backup & Recovery Deduplicationは、バンドル版でも提供しています。
- プログラムはダウンロードで提供しておりますが、インストールメディアが必要な場合はアクロニス コーポレート メディアパック(オプション) をご購入ください。

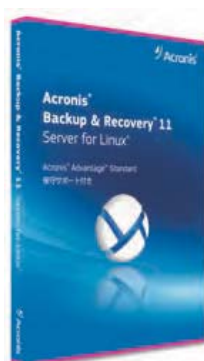
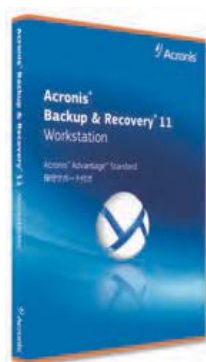
ライセンス価格については、別途価格表をご参照ください。

● パッケージ版

パッケージ版は、初年度保守 / ライセンス / インストールプログラムが1つのパッケージとして提供されます。

パッケージを納品するだけなので、納期の大幅な短縮につながります。

対象エディションは、Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows、Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux、Acronis Backup & Recovery 11 Workstationです。



製品名	型番	価格
Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows	TISMBSJPS91	¥117,600
Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux	TILMBSJPS91	¥117,600
Acronis Backup & Recovery 11 Workstation	TIWMBSJPS91	¥9,600

ライセンス版とパッケージ版の違いについて

	ライセンス版	パッケージ版
価格	購入数が多いほど単価が下がります。また、官公庁や学校向けのガバメント/アカデミック ライセンスも提供しています。	購入数に関係なく、単価は定額です。ガバメント/アカデミック ライセンスは提供していません。
納期	お客様が発注後、証書の発行・出力等を行います。なお、購入時に申請書が必要です。 (納期は 10 日程度)	購入時に申請書は不要です。 (短納期)
納品形態	・ライセンス証書 ・プロダクトキー (E メールおよび証書) ・エンドユーザーライセンス契約書 (EULA)	・製品 DVD ・ライセンス証書 ・保守サポート登録案内 ・エンドユーザーライセンス契約書 (EULA) ・アクティブ化キー (ライセンス証書に記載されています) * プロダクトキーは、オンライン上で提供しています。
保守契約	発注後、弊社にて保守に関するライセンス証書を発行した日が保守期間開始日になります。 購入時に最長 5 年の保守契約を締結することも可能です。 詳しくは、P18 の「保守契約 (Acronis Advantage Standard) の考え方について」をご参照ください。	弊社 Web ページ「マイアカウント」から製品を登録した日が保守期間開始日になります。



Acronis Backup & Recovery 11 のアップデート (ビルド) について

お客様に常に最適な製品をご利用いただけるよう、アクロニスでは機能追加や拡張、不具合の修正を行っています。そのため、ご購入いただいたアクロニス コーポレートメディアパックやパッケージ版に同梱されている製品DVDよりも最新のビルドをご利用いただける場合があります。下記URLのマイアカウント登録ページから製品を登録後、最新ビルドの確認や入手が可能になります。

マイアカウント登録ページ：<http://www.acronis.co.jp/my/>

エディションアップグレードについて

ご購入いただいたAcronis Backup & Recovery 11を、上位エディションにアップグレードすることができます。

対象製品は以下の通りです。

Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows
Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux



Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server

Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server



Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition

Acronis Backup & Recovery 11 Workstation



Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Workstation

他社製品からの乗り換えについて

弊社指定の他社バックアップ製品をお持ちのお客様は、乗換優待価格（Competitive Upgrade)にてご購入いただけます。

対象となる他社バックアップ製品につきましては、担当者にお問い合わせください。



Acronis Backup & Recovery 11 のオプション製品とインストールファイルについて

Acronis Backup & Recovery 11には、オプション製品が設定されているエディションや、標準で付属しているエディションがあります。オプションの有無についてはP5「代表的な機能」をご参照ください。

また、製品のインストールファイルは、製品購入後、P10「マイアカウント登録ページ」からダウンロードが可能です。インストールメディアが必要な場合には、オプション製品も含め、Acronis Backup & Recovery 11の全製品のインストーラーが収録されているアクロニス コーポレート メディアパックをご購入ください。

ガバメント / アカデミック ライセンスについて

ガバメント/アカデミック ライセンスは、官公庁などの公共団体や学校法人での利用を目的としたライセンスです。

通常ライセンスより低価格でご購入いただけます。

● ガバメント ご購入対象範囲

国の行政機関、立法機関、司法機関、中央銀行、地方公共団体（普通地方公共団体、特別地方公共団体）および以下の特定独立行政法人。

特定独立行政法人	国立公文書館 - 内閣府所管
特定独立行政法人	統計センター - 総務省所管
特定独立行政法人	国立印刷局 - 財務省所管
特定独立行政法人	造幣局 - 財務省所管
特定独立行政法人	国立病院機構 - 厚生労働省所管
特定独立行政法人	農林水産消費安全技術センター - 農林水産省所管
特定独立行政法人	製品評価技術基盤機構 - 経済産業省所管
特定独立行政法人	駐留軍等労働者労務管理機構 - 防衛省所管

※ 特別独立行政法人、独立行政法人、社会福祉法人、非営利団体、中央官庁・各省庁の外郭団体は適用範囲外となります。

● アカデミック ご購入対象範囲

国公立および私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校、各種学校。

厚生労働省、防衛庁管轄の各種職業訓練学校、大学校、防衛関連大学校。

大学付属病院もアカデミック対象です。

● その他

◇ 美術館・博物館・図書館について

私立であればガバメント/アカデミック対象外ですが、国、地方自治体、行政が管轄、管理しているのであればガバメント対象です。

ガバメント対象例：国立美術館、国会図書館、市町村の図書館等。

◇ 教育の研修を目的に地方自治体が設置した教育センター・教育研究所について

地方自治体（県や市町村の設立した）機関であればガバメント対象です。

その教育センター等で生徒が利用する目的であれば、アカデミック対象でもあります。

◇ 都道府県庁管轄の職業訓練校・（独）雇用・能力開発機構（厚生労働省管轄）のポリテクセンターについて

都道府県庁管轄の職業訓練校はガバメント/アカデミック対象です。

（独）雇用・能力開発機構（厚生労働省管轄）のポリテクセンターは、厚生労働省の管轄、監修となっているので、ガバメント/アカデミック対象です。

◇ 都道府県立の病院や医療機関について

都道府県立の病院や医療機関（医療センターなど）はガバメント対象です。

（※ 特殊な法人格の場合については、弊社にお問い合わせください）

◇ 国民健康保険団体連合会について

各都道府県の国民健康保険団体連合会は、国及び都道府県知事の指導監督を受ける公法人であり、現在全国の都道府県に設立されています。ガバメント対象となります。

新旧製品対応表

旧バージョン製品とAcronis Backup & Recovery 11 の対応表です。

旧製品

Acronis True Image 9.1 Server for Windows
Acronis True Image Echo Server for Windows
Acronis Backup & Recovery 10 Server for Windows



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows

旧製品

Acronis True Image 9.1 Server for Linux
Acronis True Image Echo Server for Linux
Acronis Backup & Recovery 10 Server for Linux



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linux

旧製品

Acronis True Image 9.1 Enterprise Server
Acronis True Image Echo Enterprise Server
Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server

旧製品

Acronis True Image 9.1 Workstation
Acronis True Image Echo Workstation
Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Workstation



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Workstation

旧製品

Acronis Backup & Recovery 10 Workstation



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Workstation

旧製品

Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server SBS Edition



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server SBS Edition

旧製品

Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server Virtual Edition



新製品

Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition

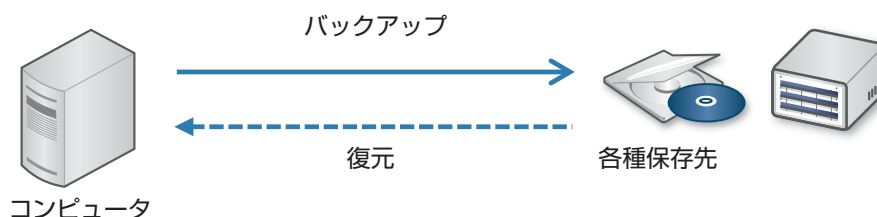
ライセンスの考え方について

【1】基本的な考え方

バックアップ/復元対象のマシン（物理環境または仮想環境）1台に対して1ライセンスが必要です。

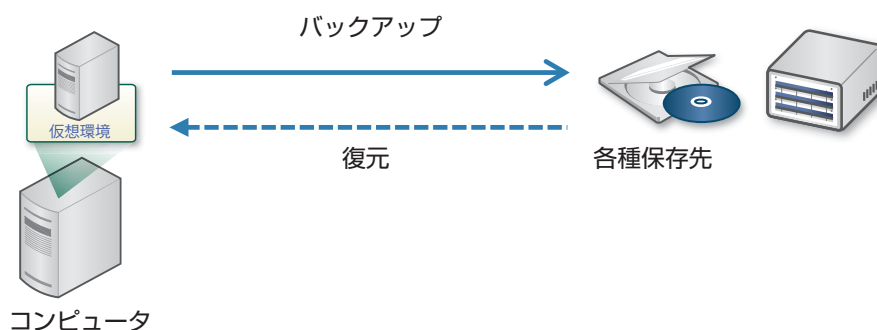
オペレーティングシステムの単一インスタンスをマシンとし、1台のマシンにインストールされた複数のオペレーティングシステムを保護対象とする場合は、保護対象システムの数だけライセンスが必要となります。

● 物理環境上の単一のインスタンスをバックアップ/復元



製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	1

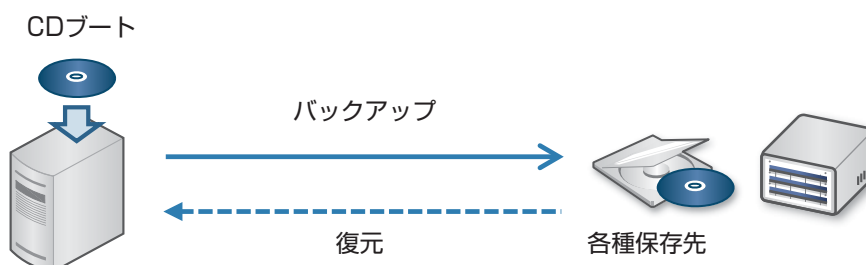
● 仮想環境上の単一のインスタンスをバックアップ/復元



製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	1

【2】CDブートでの運用

CDブートのみの運用においても、保護対象のマシン1台に対して1ライセンスが必要です。インストールの有無は関係ありません。



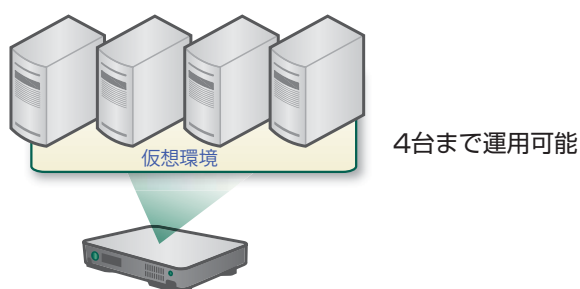
製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	1

【3】 コンピュータ間でのデータ移行
バックアップ対象と復元対象が別の筐体の場合、それぞれにライセンスが必要です。



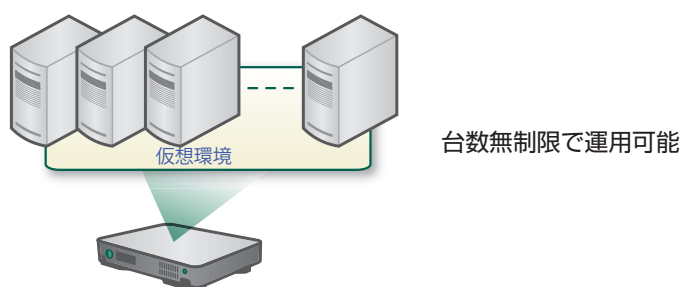
製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	2

【4】 仮想マシンのバックアップ①
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Serverは、1ライセンスで物理ホスト1台とその上で動作する仮想マシン4台まで運用可能です。



製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server	1

【5】 仮想マシンのバックアップ②
Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Editionは、1ライセンスで1台の物理ホストとその上で動作する台数無制限の仮想マシンを運用可能です。

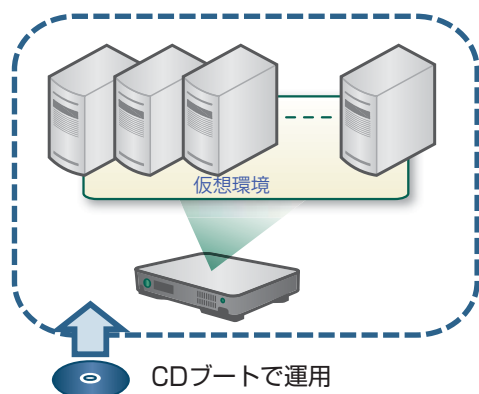


製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition	1

【6】 ホストOSのバックアップ

CDブートからのオフラインバックアップで、ホストOSの丸ごとバックアップが可能です。この場合、**バックアップ対象となる物理サーバ台数分のライセンスが必要**になります。

この運用が可能なエディションは、Acronis Backup & Recovery 11 Advanced Server、Acronis Backup & Recovery 11 Virtual Edition、Acronis Backup & Recovery 11 Server for Windows、Acronis Backup & Recovery 11 Server for Linuxです。



製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	1

【7】 オプション製品：Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restoreについて

Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restoreは、**復元対象のコンピュータ1台に対して1ライセンス必要**です。

下記構成の場合、コンピュータAとBにAcronis Backup & Recovery 11の該当エディションがそれぞれ1ライセンスと、復元対象のコンピュータBにAcronis Backup & Recovery 11 Universal Restoreが1ライセンス必要になります。

なお、ハードウェアの恒久的不具合によりライセンスを受けたハードウェアを撤去する場合にはライセンスの移管が認められます。この場合に必要なライセンスは、Acronis Backup & Recovery 11の該当エディションが1ライセンスと、Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restoreが1ライセンスです。

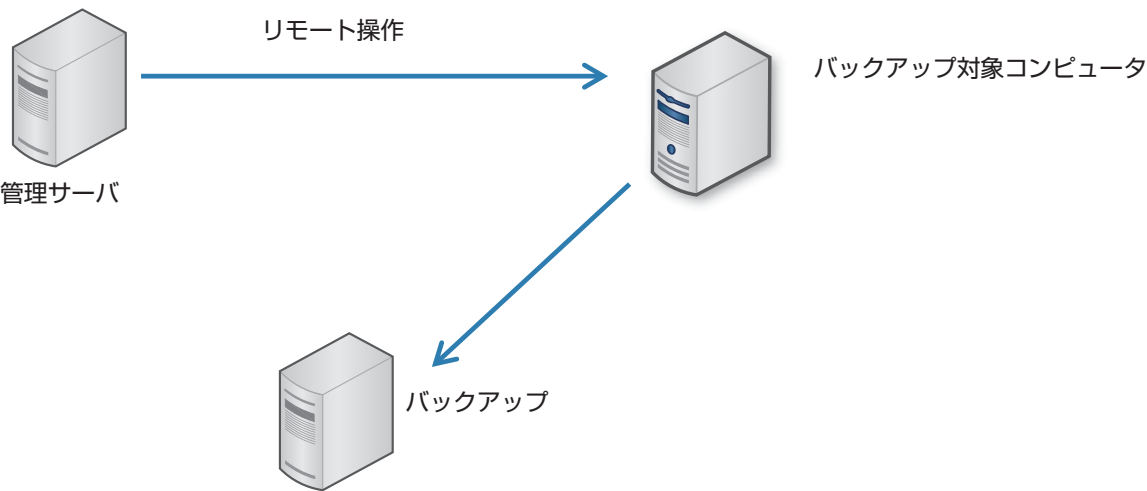


製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	2
Acronis Backup & Recovery 11 Universal Restore	1

【8】 オプション製品：Acronis Backup & Recovery 11 Deduplicationについて

Acronis Backup & Recovery 11 Deduplicationは、バックアップ/復元対象のマシン1台に対して1ライセンス必要です。なお、Acronis Backup & Recovery 11 Deduplicationを利用する場合には、ストレージノードと管理サーバが必要になります。

* Acronis Backup & Recovery 11 Deduplication は、Acronis Backup & Recovery 11 の集中管理エディションに対応したオプション製品です。



製品名	ライセンス数
Acronis Backup & Recovery 11	1
Acronis Backup & Recovery 11 Deduplication	1

保守契約 (Acronis Advantage Standard) の考え方について

Acronis Backup & Recovery 11をご購入いただくと、保守サポートプログラム「Acronis Advantage Standard (AAS)」に1年間ご参加いただけます。

● Acronis Advantage Standard (AAS)

Acronis Advantage Standard (AAS)には、電話および電子メールによるサポートが提供されます。また、保守契約期間内における無償アップグレード権も含まれています。

● 営業時間内の優先サポート

電話によるサポート（受付時間は、土日および祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00～18:00）

● ウェブ、電子メールによるサポート

24時間受け付けておりますが、休日および営業時間外に送信されたメールへの回答は翌営業日以降になります。

● 無償アップデート/アップグレード

*ただし、お使いのバージョンによっては新しいバージョンへアップグレードできない場合があります。

- Acronis Advantage Standard (AAS)をご利用いただくためには、マイアカウントから製品をご登録ください。
- Acronis Backup & Recovery 11の保守では、「Acronis Advantage Standard (AAS)」の他に、「AAS保守複数年用ライセンス」「AAS保守更新ライセンス」「AAS保守復帰ライセンス」をご用意しています。用途や更新のタイミングにより、ご購入いただく形態が異なりますのでご注意ください。

● AAS保守複数年用ライセンス(Maintenance AAS)

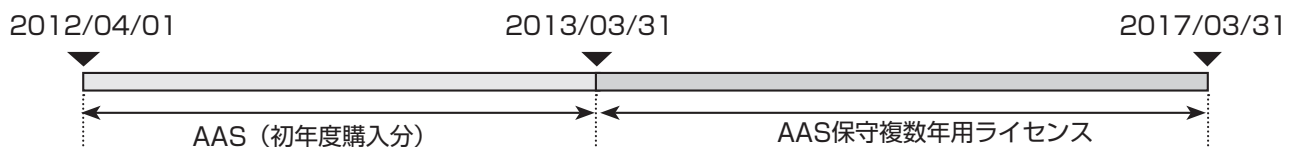
複数年用の保守ライセンスです。最大4年分（初年度の保守契約を含めると最長5年）を一括でご購入いただけます。

AAS保守複数年用ライセンスは、新規ライセンス購入時にのみお選びいただけます。

ただし、保守契約の期間内における同一バージョンのサポート提供を保証するものではありません。

AAS保守複数年用ライセンスでは、最新のバージョンから1世代前までをサポート対象製品としております。ご利用中のバージョンのサポート期間が終了した後は、アップグレードしていただくことを前提にサポートをご提供します。

保守更新ケース①

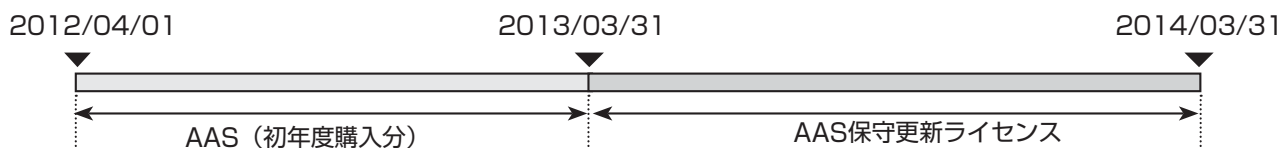


● AAS保守更新ライセンス（Renewal AAS）

AAS保守更新ライセンス（Renewal AAS）は、保守更新のためのライセンスです。
保守契約期間中に更新をする場合に適用されます。

保守更新ケース②

保守契約中に更新する場合には、AAS保守更新ライセンス（Renewal AAS）が適用されます。



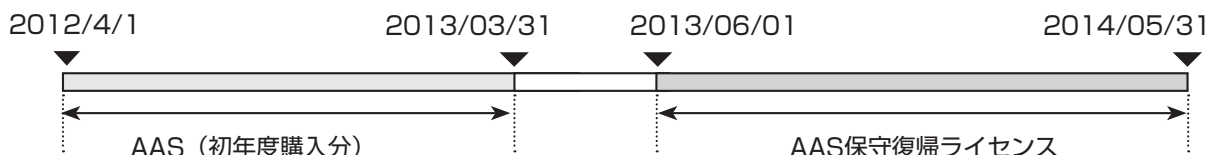
- ・ 保守契約期間終了後、30日以内に弊社にて更新の受注処理が行われた場合にはAAS保守更新ライセンス（Renewal AAS）が適用されますが、30日以内に更新処理が完了されない場合にはAAS保守復帰ライセンス（Reinstated Maintenance AAS）が適用されます。

● AAS保守復帰ライセンス（Reinstated Maintenance AAS）

AAS保守復帰ライセンス（Reinstated Maintenance AAS）は、保守更新のためのライセンスです。
製品と保守契約を購入しご使用いただいていたが、保守契約を更新されなかった、もしくは更新時期が大幅に経過してしまった場合にご利用いただけるライセンスです。

保守更新ケース③

保守契約終了日が経過した後の更新の場合には、AAS保守復帰ライセンス（Reinstated Maintenance AAS）が適用されます。



● 旧バージョンの保守更新について

旧バージョンのAcronis Backup & Recovery 10製品の保守契約を更新する場合、対応するAcronis Backup & Recovery 11のAAS保守更新ライセンス（Renewal AAS）、またはAAS保守復帰ライセンス（Reinstated Maintenance AAS）をご購入いただき、保守を継続または復帰させることが可能です。
なお、旧製品のサポートについては、原則Acronis Backup & Recovery 11へ無償バージョンアップすることを推奨しています。



アップデートとアップグレード

アップグレードは、現在のバージョンから新しいバージョンに移行することです。
アップグレードをインストールするには、アップグレード製品のプロダクトキーと、旧バージョンのプロダクトキーの両方が必要です。
アップデートは、同一バージョンの新しいビルドを指します。
1つのバージョン内でのアップデートは常に無料で提供され、アクロニスのWebサイトからダウンロードできます。

ライセンスポリシーについて

Acronis Backup & Recovery 11を正しくお使いいただくために、代表的なライセンスポリシー（違反や禁止事項）をご案内いたします。

- 製品ライセンス数を超えてソフトウェアを利用することは認められていません。
- 製品のインストールを行わないでコンピュータをブータブルメディアで起動する場合でも、保護対象のコンピュータ分のライセンスが必要になります。
- 初期購入時は、初年度分のサポートが含まれています。次年度以降サポートを受けるためには、保守更新を購入し、保守の契約期間中であることが必要です。
- 保守サポートを利用しバージョンアップをした場合、バージョンアップ後に新旧バージョンを同時に利用することは認められていません。
- ライセンスの譲渡および移管は認められていません。
ただし、社名変更や企業合併等、またはハードウェアの恒久的不具合によりライセンスを受けたハードウェアを撤去する場合に認められる例外があります。
- ライセンスのリース、レンタル、コピーは認められていません。また、アクロニスによる明示的な書面での許可なしに、企業のサービス目的で利用することも認められていません。

上記は一例です。ご不明な点は担当者にお問い合わせください。



「サービス目的での利用」について

例えば、販売会社でご担当者様が、エンドユーザ様にハードウェアと一緒にAcronis Backup & Recovery 11ファミリを納品する際、インストール作業等を代行してから製品を納品するというケースであれば、「サービス目的」には該当しません。

お客様がAcronis Backup & Recovery 11ファミリをご購入後、アクロニスによる明示的な書面での許可なしに、サードパーティ向けのサービスを遂行することを目的として本ソフトウェアを利用し、または本ソフトウェアの利用を許可することは、有償無償を問わず認められていません。

お問い合わせ先

- 製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

アクロニスセールスインフォメーションセンター

TEL : 03-6430-1423 FAX : 03-6430-1401

受付時間 : 9:00~12:00 13:00~18:00 (土、日、祝日、年末年始を除く)

* Webサイトのフォームからもお問い合わせいただけます。

<http://www.acronis.co.jp/inq/>

- **Acronis Backup & Recovery 11に関する最新情報**

<http://www.acronis.co.jp/backup-recovery/>

<http://kb.acronis.com/>

- **Acronis Backup & Recovery 11 無償試用版のお申込み**

<http://www.acronis.co.jp/dl>



Acronis Backup & Recovery® 11

Copyright © 2000-2012 Acronis, Inc. All rights reserved. Acronis、Acronis Backup & Recovery、および Acronisロゴは、Acronis, Inc.の登録商標です。VMwareは米国およびその他の国におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。記載されているその他の名称は、各所有者の商標または登録商標である可能性があり、そのような可能性を考慮して扱う必要があります。技術的な変更および図との差異が生じる可能性があり、誤りが含まれている可能性があります。2012-1



アクロニス・ジャパン株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5

メソニック39MTビル 5F

<http://www.acronis.co.jp>